

あした(ば)

子どもが描いた
タイトルです

社会福祉法人誠心会
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
しらかば子どもの家・ベビーホーム後援会
〒239-0826 横須賀市長瀬 3-3-1
TEL : 046-874-5900・5901
FAX : 046-874-5902

第3号

2015(平成27)年3月1日発行

はじめに

前回から長く間が空いてしまいましたが、無事に第三号を発行するに至りました。新しい年を迎えて早3カ月が経とうとしておりますが、年始の挨拶が遅れたこととお詫び申し上げます。そして、こちらで生活をしている受験生たちは冬休みも関係なく希望の進学先に行けるよう、日々努力を重ねております。また、ここで生活しているすべての子ども達が、健やかに成長できるよう職員一同、努力の毎日です。

シティーマリナーナヴェラシスからの招待

昨年に続き、シティーマリナーナヴェラシスの皆様から、ヨットの乗船体験、また敷地をお借りしてのバーベキューに招待していただきました。今年も子どもたちの為に、海洋冒険家の白石康次郎さんにもお越しいたゞき、素晴らしい時間を提供していただきました。



子どもたちからのお礼の言葉

いつも船に乗せてくれたり、遊んでくれてありがとうございます。バーベキューの焼きそばやお肉、とても美味しかったです。来年も呼んでもらえたらうれしいです。小学4年女子

ヨットやボートに乗せてくれてありがとうございました。また乗せてください。私はボートに乗って、怖かったけど楽しかったです。小学5年女子

七五三

今年は、男の子が2人、女の子が4人が晴れて七五三のお祝いを行うことができました。



あしたば祭の御礼

昨年10月12日に行われた、あしたば祭りにおきましては、ご来場いただいたすべての方々に感謝を申し上げます。また、開催において様々なご尽力をいただいた、後援会の皆様をはじめとした関係各位の方々に深く御礼を申し上げます。下記の写真は、当日のほんの一部ではありますが、祭りの様子を記録したものです。



子どもたちの感想・感謝の言葉

「久しぶりのあしたば祭の練習の日はけんかもあり、出来ないのかと思ったらとってもいい作品が出来ました。ドキドキや恥ずかしいと思いながらやったらその気持ちはなくなり、楽しい気持ちになりました。来年も頑張って盛り上げたいです。」小学4年女子

「お客さんがいっぱい来てくれてうれしかった。自分もちゃんと踊れたのでよかった。」小学6年女子

「あしたば祭りは、出店に使う機材や材料などを用意してくれてありがとうございました。また、お祭りを見に来てくれた人たちも、機会があれば遊びに来て下さい。」小学5年男子

一年を振り返って

以下は、子どもたちに一年を振り返ってもらった、ここでの生活の様子です。日々を大切に生きている子どもたちの文章をそのまま載せています。また、子どもたちが、学校や幼稚園などで作成した作品も少しではありますがありますが、写真で紹介します。

しらかば子どもの家で暮らしていて、色んな力が身に付きました。その中で一番身に付いたことは、どんな人にもやさしく思いやりを持つことです。そして一番大切にしなければいけないと思うこともあります。それは、沢山のひとと触れ合い、コミュニケーションを取ることです。このことを大切にして、これからも楽しくしらかばで暮らしていきたいです。(中2女子)

私はしらかば子どもの家で、餃子作りのお手伝いをしました。はじめてだったので緊張しました。でもやってみたら楽しかったです。その時は皮でお肉を包むだけだったので、次は中身の「具」から一緒にお手伝いしたいと言いました。調理員さんがそのことを覚えていてくれて、次に一緒に作った時には、「具」からお手伝いをして、楽しかったです。もっと色々な料理をしたいです。(小5女子)

僕は新しい学年になってから、色々嬉しいことがありました。それは、段々と背が伸びてきたことです。ご飯をいっぱい食べるようになったからだと思います。あとは、もらえるお小遣いが増えたのが嬉しかったです。また一つお兄ちゃんになったので、小さい子に前よりも優しくしようと思います。優しくすると僕も嬉しい気持ちになります。(小5男子)

9月、僕は駅伝練習をやることになり、「やるぞ!」と言って気合を入れました。練習では、どんどんスピードを上げるとすぐに体力がなくなって、歩いたりもしました。次の日はタイム測定で、1周6分でした。毎日毎日走って、すごく大変で疲れたけど、しばらくして3分55秒の自己最高記録が出ました。すごくうれしかったです。(小6男子)



幼稚園で作りました。



お雛様の人形も幼稚園で



市内の作品展で表彰されました。

施設長より

「年も明けて」

この原稿を書いている時は、寒さの真最中でしたが、皆様のお目に触れているころには暖かな日が続いている頃かもしれません。

まもなくこの施設も開所して5年目を迎えることになります。子どもたちも施設での生活に慣れ、地域での行事なども積極的に参加するようになりましたが、一部ではまだ「なぜ自分は施設にいるんだ」と否定している子どももいます。子どもたちに罪はなく、全てが大人たちの責であるとは思っております。このような施設などなくて済むような世の中になれば良いのですが、まだまだその役割は必要とされているようです。新しい年を迎える度に少しでも子どもたちの気持ちが前向きになってくれれば良いのですが。

みかえりを望まず、感謝もされず、生傷は増えて、迷いながら、苦しみながら、笑顔を絶やさず、子どもたちに寄り添う職員の皆に感謝しております。

しらかば子どもの家 施設長 佐藤 健

入学お祝い会のお知らせ

日付：平成27年4月4日（土）

時間：午前11時から

場所：しらかば子どもの家・ベビーホーム 食堂

	男	女	合計
高等学校	1人	1人	2人
中学校	2人	1人	3人
小学校	2人	3人	5人
合計	5人	5人	10人

10人が進学します。子どもたちの未来に対し、皆様の祝福をお願いします。

今年度寄付を頂いた皆様のお名前です。ありがとうございました。

株式会社E-Vol様、大滝文子様、ダイアナ様、田口淳子様、谷地恵美子、株式会社ゆうちょ銀行様、小林様、鶴見短期大学様、上林りさ様、川名江利子様、社団法人神奈川県養豚境界様、畠山貴子様、東京医薬専門学校様、一般社団法人日本レコード協会様、長雄市子三橋園様、根本哲様、ウスイホーム株式会社様、コストコホールセンタージャパン株式会社金沢シーサイド倉庫様、セリエコーポレーション様、テスト様、株式会社モルテン大阪支店様、全国シャンメリー協同組合様、カゴメ株式会社カゴメトマトツリー事業部様、井崎禎一郎、静岡恵明学園様、亀井寿哉様、日本鏡餅組合様、株式会社プレナス様、毎日新聞東京社会事業団様、日本出版販売株式会社様、奥継建設工業株式会社様、株式会社AQUA コーポレーションField Boss様、岩持様、偕成社編集部様、村井田大輔様、神奈川トヨタ自動車株式会社様、株式会社カレンズ様、HOPE 新井利之様、藤信義様、デビッドグレニスタ様、和泉短期大学様、カレンイングランド様、佐藤様、リング様、沼田まき様、岩村ゆき様、杉村伸一様、杉山様、大井富江様、口野恭子様、櫻井芳子様、㈱ダッドウェイ様、山田節子様、ベビーフード協会様、五十嵐由美様、日洋物産様
(順不同)

編集後記

子ども達の生活の様子などを中心にお届けしてきたこの広報誌も、どうか1年間続けていくことができました。もうすぐ年度も変わり、新しい環境にステップアップしていく子ども達。将来の進路に悩み、不安な気持ちと日々向き合いながらも、子ども達は日々を懸命に生きています。その支えになれるように、職員は子ども達を見守っています。また、陰ながらも「しらかばベビーホーム」「しらかば子どもの家」の子ども達を支援していただいているすべての皆様に感謝を申し上げます。

広報委員 寺尾・相田